

## 平成28年度 鳥取湖陵高等学校 第三者評価 評価書

### 【講評】

学校の教育方針である自立、協同、創造を達成すべく学校長の強いリーダーシップのもと、全教職員のみならず、保護者、学校関係者、地域の方々、卒業生、教育委員会と連携を取りながら、生徒の育成を図っている。学校長がPTAだより（第25号）に投稿された言葉「何もしない人は、失敗もしません。」にその意気込みが表れている。農業、工業、家庭、情報の専門学科を擁し、多様な学習ができる総合選択制高校としての本校の特長がよくいかされている。本校の学習成果を公開する目的で今年度初めて開催された「湖陵フェスタ」を参観した際、本校卒業生の寄せた「この学校で学んでよかった。」という声に触れ、納得した。

以下は、委員会として評価し、今後も継続・発展していただきたい主な事項である。

- ① 専門学科での生徒のいきいきとして取り組む姿、技術、成果物を手にしたときの喜びを経験する授業・実習は、実り豊かなものがある。継続発展していただきたい。
- ② 1年次より教職員の指導、職業学習、現場体験、卒業生からの情報収集等、多くの機会を経て、自己の未来像を形成する進路指導は充実している。継続発展していただきたい。
- ③ 教科外活動としての部活動、湖陵フェスタ、図書館でのイングリッシュカフェ、海外の学生との交流に加えて、新しく登場したICT活用による学習活動は模範的レベルであり、継続発展していただきたい。
- ④ 「安全計画」「防災計画」の実施は地道なものであるが、平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震でも訓練の成果が実証された。更新しながら継続していただきたい。
- ⑤ 学校長による校務分掌の削減は業務の実効性を高め、意思決定の迅速化を促す。また、会議形式の変更は効率化につながる。これらの改革は教職員の時間外勤務削減にもつながっている。継続発展していただきたい。
- ⑥ 学校評価は自己評価表、生徒アンケート、保護者アンケートに客観的な数値目標が設定され、効果が確認しやすい。継続発展していただきたい。
- ⑦ 学校裁量予算を43の幅広い事業に配分し、専門的で先進的な教育活動を可能にしている。継続発展していただきたい。
- ⑧ 学校の情報公開方法としてPTAだより「きずな」（年3回発行）は保護者から好評であり、ホームページは内外の人から信頼を得ている。継続発展していただきたい。

一方、以下は、今後改善していただきたい主な事項である。

- ① 普通教科における基礎・基本の定着が十分ではない生徒に、基礎力を身に付けることの大切さが分かるような学習方法の研究、実施、確認等、中長期的な視野での対応を期待する。
- ② 欠席・遅刻は減少しているものの、学年差も顕著にあり、引き続き改善項目として取り組んでいただきたい。
- ③ 教職員の月間80時間を超える時間外勤務は、特定の教職員に限られているようであるが、好ましいとは言えないため、改善を期待する。
- ④ 手話の取組は限定的である。必要となることは十分予想されるので、積極的な取組を期待する。